

コープ美作エリア委 広島の土砂災害 被災者に膝掛け

AMD Aへ託す

広島市で昨年8月に発生した土砂災害の被災者に使ってもらおうと、生活協同組合おかもやまコープ美作エリア委員会は20日、手編みの膝掛け36枚を国際医療ボランティア・AMD A（岡山市北区伊福町）に託した。広島のアランティア団体を通



AMD A職員（右）に手編みの膝掛けを手渡すおかもやまコープ美作エリア委員会のメンバー

じて被災者に届ける。

膝掛けは縦80センチ、幅50センチ。津山、真庭など県北10市町村の組合員約50人が毛糸を使い、昨夏から手編みしていた。この日、委員会の松山和泉さん（40）ら3人がAMD A本部を訪れ「一人一人が心を込めて編みました」と手渡した。職員の菅谷安美さん（24）は「皆さんの気持ちも一緒に被災者に届けます」とお礼を述べた。

広島市によると、土砂災害では74人が犠牲になり、一時15万人を対象に避難指示・勧告が出た。（大橋孝平）